

永田昌毅 出願日：平成 19 年 9 月 28 日 登録日：
平成 23 年 9 月 22 日

包括歯科補綴学分野

【著書】

- 1) 河野正司, 金田 恒：補綴臨床テクニカルノート クラウンブリッジ編, 医歯薬出版, 東京, 2011.

【原著論文】

- 1) Tanaka M, Yamashita E, Anwar B.R, Yamada K, Ohshima H, Nomura S, and Ejiri S: Radiological and histologic studies of the mandibular cortex of ovariectomized monkeys, *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod*, 111(3):372-80, 2011.
- 2) Yamada K, Hoshina H, Arashiyama T, Arasawa M, Arai Y, Uoshima K, Tanaka M, Nomura S: Immediate implant loading following computer-guided surgery. *J Prosthodont Res* 55(4):262-5, 2011.
- 3) Yamashita-Mikami E, Tanaka M, Sakurai N, Arai Y, Matsuo A, Ohshima H, Nomura S, and Ejiri S: Correlations between alveolar bone microstructure and bone turnover markers in pre- and post-menopausal women. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod*, 2012. (in press)
- 4) Yamashita-Mikami E, Tanaka M, Sakurai N, Yamada K, Ohshima H, Nomura S, Ejiri S: Microstructural observation with micro-computed tomography and histological analysis of human alveolar bone biopsy from a planned implant site: a case trial. *Open Dent J* 2012. (submitted)
- 5) Miyako H, Suzuki A, Nozawa-Inoue K, Magara J, Kawano Y, Ono K, Maeda T. Phenotypes of articular disc cells in the rat temporomandibular joint as demonstrated by immunohistochemistry for nestin and GFAP. *J Anat.* 2011 Oct;219(4):472-80
- 6) Ali MN, Kobayashi T, Tanaka M, Ohshima H, Ejiri S, Saito C: Effects of intermittent parathyroid hormone treatment on new bone formation during distraction osteogenesis in the rat mandible. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod* 2012. (in press)
- 7) Magara J, Nozawa-Inoue K, Suzuki A, Kawano Y, Ono K, Nomura S and Maeda T. Alterations in intermediate filaments expression in disc cells

- from the rat temporomandibular joint following exposure to continuous compressive force. *J Anat.* 2012 (in press)
- 8) Satou Y, Al-Shawafi HA, Sultana S, Makita S, Sohda M, Oda K. Disulfide bonds are critical for tissue-nonspecific alkaline phosphatase function revealed by analysis of mutant proteins bearing a C(201)-Y or C(489)-S substitution associated with severe hypophosphatasia. *Biochim Biophys Acta.* Apr;1822(4):581-8. 2012.
 - 9) Kawasaki M, Nomura S, Okada N, Nomura A, Uoshima K. Evaluation of newly developed devices for denture placement and removal in the dependent elderly. *Gerodontology.* 2011 Oct 24.
 - 10) Taga H, Azuma Y, Maehara K and Nomura S: Effects of Changes in Vertical Occlusal Dimension on Heart Rate Fluctuation in Guinea Pigs. *in vivo* 26:177-182, 2012.
 - 11) 渡邊清志：「コンプリートデンチャーの維持安定および咬合平衡を高めるために」～印象採得・咬合採得・人工歯排列・歯肉形成の各工程の基本事項と必要条件を再考する～*日本歯技* 第 507 号：37～44, 2011.
 - 12) 金城篤史, 河野正司, 昆はるか, 佐藤直子, 甲斐朝子, 小林 博, 櫻井直樹, 野村修一：タッピング運動時における下顎運動量と体幹運動量との関連. *日本顎口腔機能学会雑誌* 18 巻 2 号, 115-124, 2012.

【学会発表】

- 1) Ito K, Okawa S, Kanatani M, Yamaga Y, Kaneko H, Nomura A, Nomura S, Watanabe K: Surface modification of PMMA by LEB irradiation. *International Dental Materials Congress 2011, May 27-29, 2011 Seoul (Korea)*
- 2) Nomura S, Kon H, Kai A, Tsurui C, Tanaka M, Kamohara H: An attempt on effective impression taking for dentures At home dental care. 14th Meeting of the International College of Prosthodontics, September 8-12, 2011, Kona Hawaii (U.S.A.), Conference Program, 167, 2011.
- 3) Ito K, Okawa S, Kanatani M, Yamaga Y, Kaneko H, Nomura A, Nomura S, Watanabe K: Effect of LEB irradiation on surface chemical properties of PMMA. *The 7th Biennial Meeting of Asian Academy of Prosthodontics (AAP), October 28-30, 2011, Shanghai (China)*
- 4) Kaneko H, Kanatani M, Ito K, Yamaga Y, Nomura S, Watanabe K: Surface analysis of Ag-Pd-Cu-Au

- alloys removed from oral cavities. The 7th Biennial Meeting of Asian Academy of Prosthodontics, Oct 28-30, 2011, Shanghai (China)
- 5) Ito K, Okawa S, Kanatani M, Yamaga Y, Kaneko H, Nomura A, Nomura S, Watanabe K: Effect of LEB irradiation on chemical properties of PMMA. International Symposium on Oral Health Education and Research, December 10-11, 2011, Balikpapan (Indonesia)
 - 6) Kaneko H, Okawa S, Kanatani M, Ito K, Yamaga Y, Nomura S, Watanabe K; Surface analysis of Ag-Pd-Cu-Au alloys removed from oral cavities. International Symposium on Oral Health Education and Research, Dec 10-11, 2011, Balikpapan (Indonesia)
 - 7) Yamaga Y, Okawa S, Kanatani M, Ito K, Kaneko H, Nomura S, Watanabe K; Effect of rotation-revolution mixer on mixing and degassing of denture lining materials. International Symposium on Oral Health Education and Research, Dec 10-11, 2011, Balikpapan (Indonesia)
 - 8) Nomura S, Ito K, Yamaga Y, Kaneko H, Nomura A, Tanaka M, Kamohara H: Effective Impression Taking of Dentures for Home Dental Care. 2012 Sino-Japan Dental Conference, April 26-28, 2012, Chengdu (China), Conference Proceedings, 89,2012.
 - 9) 野村修一, 伊藤恭輔, 山鹿義郎, 野村章子, 田中昌博, 蒲原 敬: 在宅診療における効率的な義歯精密印象採得の試み. 平成 23 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会, 神戸, 2012 年 2 月 4 日, 関西支部学術大会プログラム・抄録集: 17, 2012.
 - 10) 真柄 仁, 野澤-井上佳世子, 鈴木晶子, 河野芳朗, 野村修一, 前田健康: 機械的負荷を与えたラット顎関節関節円板におけるデスミンの発現. 平成 23 年新潟歯学会総会, 新潟, 2011 年 4 月 16 日, 新潟歯学会雑誌, 41 (1) :52-53, 2011
 - 11) 敦井智賀子, 櫻井直樹, 伊藤恭輔, 影山幾男, 野村修一: 大白歯歯頸線から外斜線および顎舌骨筋線までの距離 -下顎義歯床翼長の評価への応用-. 日本補綴歯科学会第 120 回記念学術大会, 広島, 2011 年 5 月 20-22 日, プログラム・抄録集: 125 頁, 2011.
 - 12) 佐藤直子, 野村修一, 昆はるか, 櫻井直樹, 河野正司, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 縦断調査から見た歯列欠損形態と咀嚼能力の経年変化. 第 22 回日本老年歯科医学会総会・学術大会, 東京, 2011 年 6 月 15-17 日, プログラム・抄録集 152 頁, 2011.
 - 13) 昆はるか, 佐藤直子, 金田 恒, 山田一穂, 櫻井直樹, 田中みか子, 小林 博, 野村修一: 義歯外形に対する評価と義歯装着者の主観的満足度との関係について. 第 22 回日本老年歯科医学会総会・学術大会, 東京, 2010 年 6 月 15-17 日, プログラム・抄録集 151 頁, 2011.
 - 14) 林 頼雄, 小林 博, 野村 修一: 回転切削技工操作時における局所振動伝搬の加速度計による評価, 平成 23 年度新潟歯学会第 1 回例会, 2011 年 7 月 9 日
 - 15) 新国 農, 西山秀昌, 櫻井直樹, 荒井良明, 林 孝文: 顎関節部MR I の応用 -痛みを有する咬筋 T 2 値の左右差について. 第 24 回日本顎関節学会総会・学術大会, 広島, 2011 年 7 月 23 日, 日顎誌, 23 : 87, 2011.
 - 16) 西山秀昌, 新国 農, 櫻井直樹, 荒井良明, 林 孝文: 非復位性顎関節円板前方転位における円板前方端の可動範囲について. 第 24 回日本顎関節学会総会・学術大会, 広島, 2011 年 7 月 23 日, 日顎誌, 23 : 97, 2011.
 - 17) 伊藤恭輔: PMMA の表面改質 ~低エネルギー電子線照射の応用~. 平成 23 年度日本歯科理工学会中部支部夏期セミナー, 新潟, 2011 年 8 月 18-19 日, 2011.
 - 18) 真柄 仁, 野澤-井上佳世子, 鈴木晶子, 河野芳朗, 野村修一, 前田健康: ラット顎関節への機械的負荷による顎関節円板におけるデスミンの発現. 第 53 回歯科基礎医学学会学術大会・総会, 岐阜, 2011 年 9 月 30 日-10 月 2 日, 新潟歯学会雑誌, 53:151, 2011.
 - 19) 金城篤史, 河野正司, 昆はるか, 塩見晶, 甲斐朝子, 小林博, 野村修一: 下顎タッピング運動時に見られる体幹の協調運動. 平成 23 年度日本補綴歯科学会東北・北海道, 関越支部, 東関東支部合同学術大会, 新潟, 2011 年 9 月 23-24 日, プログラム・抄録集 31 頁, 2011.
 - 20) 山鹿義郎, 大川成剛, 金谷 貢, 伊藤恭輔, 金子広美, 櫻井直樹, 野村修一, 渡辺孝一: 直接法リライニング材混和に対する公転・自転式ミキサーの効果. 平成 23 年度日本補綴歯科学会東北・北海道, 関越支部, 東関東支部合同学術大会, 新潟, 2011 年 9 月 23-24 日, プログラム・抄録集 9 頁, 2011.
 - 21) Kobayashi H, Hayashi Y: Impact of vibration in curving work by electrical dental motor. JADR59 Oct 8-9, 2011. Hiroshima (Japan), 2011.
 - 22) 林 頼雄, 安藤申直, 里見 孝, 安藤嘉明, 土田康夫: 歯科技工物の個人識別とトレーサビリティに関する一考察, 日本法歯科医学会第 5 回学術大会, 東

京 2011 年 10 月 9 日 2011.

- 23) 金子広美, 大川成剛, 金谷 貢, 伊藤恭輔, 山鹿義郎, 野村修一, 渡辺孝一: 歯科用合金の腐食 第 1 報 口腔内から撤去した歯科用合金の表面分析. 第 58 回日本歯科理工学会学術講演会, 福島, 2011 年 10 月 22-23 日, 歯科器 30 (5), 2011.
- 24) 山鹿義郎, 大川成剛, 金谷 貢, 伊藤恭輔, 金子広美, 野村修一, 渡辺孝一: 直接法ライニング材の攪拌脱泡に対する公転・自転式ミキサーの有効性 第 58 回日本歯科理工学会学術講演会, 福島, 2011 年 10 月 22-23 日, 2011.
- 25) 會田英紀, 木村 彩, 佐々木啓一, 佐藤裕二, 石橋寛二, 窪木拓男, 馬場一美, 秀島雅之, 小林 博, 桜井 薫, 鱒見進一, 越野 寿, 平井敏博: 症型分類に基づく補綴治療の妥当性に関する多施設共同研究-ペースラインの評価. 第 120 回社団法人日本補綴歯科学会学術大会 日補綴会誌 3(120 回特別号), 115: 2011 年 5 月
- 26) 佐藤康仁, Hiba A Al-Shawafi, Sara Sultana, 牧田早織, 相田美和, 織田公光: 重症低フォスファターゼ症で報告された組織非特異型アルカリフォスファターゼのミスセンス突然変異 [TNSALP (C184Y), TNSALP (C472S)] の解析. 平成 23 年度新潟歯学会第 2 回例会, 2011 年 11 月 12 日
- 27) 伊藤恭輔, 大川成剛, 金谷 貢, 金子広美, 山鹿義郎, 野村章子, 野村修一, 渡辺孝一: 低エネルギー電子線照射が PMMA 表面に与える影響. 第 58 回日本歯科理工学会学術講演会, 福島, 2011 年 10 月 22-23 日, 歯材器 30 (5): 338, 2011.
- 28) 林 頼雄ほか. 歯科技工物のトレーサビリティと義歯刻印に関する一考察. 日本法歯科医学会第 5 回学術大会プログラム・講演要旨集, 東京, 2011 年 10 月 9 日, 28 頁, 2011.

【研究費獲得】

- 1) 三上絵美: 歯槽骨生検法を用いた骨粗鬆症の超早期発見法の確立. 平成 23-24 年度日本学術振興会科学研究費補助金研究活動スタート支援, 課題番号 23890061, 2011. (新規)
- 2) 三上絵美: 組織・細胞レベルにおける歯槽骨変化と全身の骨代謝状態との関連性, 平成 23 年度 新潟大学プロジェクト推進経費 (奨励研究), 2011. (新規)
- 3) 田中みか子, 野村修一, 江尻貞一, 依田浩子, 田中礼, 山田一穂: 歯槽骨の骨構造変化を指標とした骨粗鬆症診断法の開発 - 歯科臨床からのアプローチ. 平成 23 - 26 年度 日本学術振興会 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C), 課題番号 23592839. (新規)
- 4) 平井敏博, 佐々木啓一, 佐藤裕二, 石橋寛二, 窪木拓男, 馬場一美, 秀島雅之, 小林 博, 桜井 薫, 鱒見進一, 越野 寿: 症型分類 (治療難易度) に基づく補綴治療の診療ガイドラインの策定と妥当性の検証. 平成 21-23 年度科学研究補助金 基盤研究 (A) 分担 (代表者 平井敏博) 課題番号 21249092 (継続)
- 5) 小林 博, 山田好秋: ブルートゥース及び無線 USB 規格伝送による補綴治療時歯科医師姿勢の遠隔連続測定. 平成 21-23 年度科学研究補助金 基盤研究 (C) 代表者 課題番号 21592444 (継続)
- 6) 櫻井直樹, 野村修一, 井上 誠, 堀 潤一, 小林 博, 昆 はるか, 豊里 晃: 在宅高齢者に対するピエゾセンサーを用いた遠隔嚥下機能評価訓練システムの開発. 平成 22-24 年度日本学術振興会研究費補助金 基盤研究 (C), 課題番号 22592145, 2010. (継続)
- 7) 昆はるか: 頭頸部痛患者に対する学際的な診断システムの確立. 平成 21-23 年度日本学術振興会研究費補助金 若手研究 (B), 課題番号 21791886 (継続)
- 8) 佐藤直子: 捕食時の開口運動に関する研究 ~加齢・歯の喪失・義歯が与える影響~. 平成 22-24 年度日本学術振興会研究費補助金 若手研究 (B), 課題番号 22791876 (継続)
- 9) 金城篤史: 咀嚼筋および頸部筋の疲労が全身のバランスに及ぼす影響について. 平成 22-24 年度日本学術振興会研究費補助金 若手研究 (B), 課題番号 22791877 (継続)
- 10) 甲斐朝子: 「捕食」は上半身全体で行う運動である. 平成 22-24 年度日本学術振興会研究費補助金 若手研究 (B), 課題番号 22791874 (継続)
- 11) 敦井智賀子: ピエゾセンサーを用いた簡便な嚥下評価システム. 平成 22-23 年度日本学術振興会研究費補助金 研究スタート支援, 課題番号 22890066 (継続)
- 12) 金田 恒: 科学研究費補助金応募支援プログラム経費, 平成 23 年度学長裁量費, 2011.
- 13) 渡邊清志: 科学研究費補助金応募支援プログラム経費, 平成 23 年度学長裁量費, 2011.

【受託研究】

- 1) 櫻井直樹: インターネットを利用した遠隔嚥下障害リハビリテーション支援デバイス開発. 平成 23 年度研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) フィージビリティスタディ 【FS】 ステージ 探索タイプ, 課題番号 AS231Z04387F

【その他】

- 1) 林 頼雄：北陸地方の獅子頭（仮面）における顎顔面の造形様式について，千葉市立美術館9階講座室，2010年8月7日
- 2) 林 頼雄：獅子頭における仮面の共感的連鎖，共感研究会第5回大会，東京（早稲田大学），2011年4月16日。
- 3) 渡邊清志：研修医オリエンテーション（公開セミナー）テーマ：全部床義歯における印象採得・咬合採得・咬合の要点 2011年6月
- 4) 渡邊清志：技工概論，テーマ：「全部床義歯の咬合様式〔理論編〕－特に Full Balanced occlusion について－」東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校 2011年7月東京都
- 5) 渡邊清志：技工概論，テーマ「全部床義歯の咬合様式〔理論編〕－特に Lingualized occlusion について－」東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校 2012年1月 東京都
- 6) 野村修一：浮世絵にみる歯科医療の近代史. 新潟大学旭町学術資料展示館開館十周年記念特別展示 新潟大学所蔵貴重学術資料公開展示会記録集：39-44, 2012年3月14日.
- 7) 野村修一：そうだったのか！高齢者の義歯補綴治療. 会津若松歯学研究会，2012年3月10日会津若松市

【特許出願】

- 1) 嚙下機能評価訓練装置 出願番号：特願 2011-084024号 出願日：平成 23年4月5日
発明者：櫻井直樹，野村修一，豊里 晃

生体歯科補綴学分野

【論文】

- 1) Kawasaki M, Nomura S, Okada N, Nomura A, Uoshima K: Evaluation of newly developed devices for denture placement and removal in the dependent elderly. *Gerodontology*: 10. 1111/ j. 1741-2358, 2011.
- 2) Nagasawa M, Takano R, Maeda T, Uoshima K: Observation of the Bone Surrounding Overloaded Implant in a Novel Rat Model. *Int J Oral Maxillofac Implants*, (in press.), 2011.
- 3) Mochida Y, Kaku M, Yoshida K, Katafuchi M, Atsawasuwan P, Yamauchi M. Podocan-like protein: a novel small leucine-rich repeat matrix protein in bone. *Biochem Biophys Res Commun*. Jul 1;410(2):333-8, 2011.
- 4) Boushell LW, Kaku M, Mochida Y, Yamauchi M.

Distribution and relative activity of matrix metalloproteinase-2 in human coronal dentin. *Int J Oral Sci*. Oct;3(4):192-9, 2011.

- 5) Kawasaki K, Porntaveetus T, Oommen S, Ghafoor S, Kawasaki M, Otsuka-Tanaka Y, Blackburn J, Kessler JA, Sharpe PT, Ohazama A: Bmp signaling in filiform tongue papillae development: *Archives of oral biology*, (in press), 2011.
- 6) Blackburn J, Ohazama A, Kawasaki K, Otsuka-Tanaka Y, Liu B, Honda K, Rountree RB, Hu Y, Kawasaki M, Birchmeier W, Schmidt-Ullrich R, Kinoshita A, Schutte BC, Hammond NL, Dixon MJ, Sharpe PT: The role of *Irf6* in tooth epithelial invagination: *Developmental Biology* (in press), 2012.

【研究費獲得】

- 1) 魚島勝美：咬合力による骨組織改造の高精度予測. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 20390487, 2011.
- 2) 魚島勝美：骨膜非剥離小規模骨増成法の新規開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究, 22659348, 2011.
- 3) 加来賢：ヒト歯根膜由来・神経堤幹細胞によるセメント／歯根膜複合体再生法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 22791875, 2011.
- 4) 秋葉陽介：エピジェネティクス制御を用いた細胞工学的手法による新規骨造成法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 22791873, 2011.
- 5) 川崎真依子：抗アポトーシスタンパク HSP27の細胞内導入法を用いた効果的な骨造成法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 23792215, 2011.
- 6) 秋葉奈美：骨粗鬆症患者へのインプラント適用を目的としたエピジェネティクスによる骨代謝制御. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 23792214, 2011.
- 7) 加来咲子：メカノレセプターとしてのプライマリー・シリアによる歯根膜維持機構. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 23792213, 2011.
- 8) 秋葉陽介：ヒストンアセチル化阻害剤 (HDACI) の全身投与が骨新生，骨造成に及ぼす影響の検索. 新潟大学平成 23年度プロジェクト推進経費 奨励研究, 2011.
- 9) 秋葉陽介：新潟大学平成 23年度若手教員論文投稿支援プログラム 基盤研究経費, 2011
- 10) 加来賢：ローヤルゼリーによるコラーゲン・クロスリンクを介した組織安定化機構. 山田養蜂場みつば